

発議第 8 号

平成 29 年 8 月 30 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

提出者	幕別町議会議員	寺林	俊幸
賛成者	幕別町議会議員	田口	廣之
賛成者	幕別町議会議員	千葉	幹雄
賛成者	幕別町議会議員	中橋	友子

幕別町内の高等学校の再編統合についての意見書

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第 14 条の規定により提出します。

幕別町内の高等学校の再編統合についての意見書

北海道教育委員会は、本年6月6日に「公立高等学校配置計画案」を公表し、平成30年度から32年度までの配置計画案と平成33年度から36年度までの見通しを明らかにしました。

この計画案では、幕別町内においては、「幕別高校については、私立江陵高校が募集停止になること等を考慮し、平成31年度に2学級増（現行1学級）とし、平成31年度入学者から私立江陵高校校舎を使用する。」、「学科は検討中」と計画の見直しが行われました。

しかしながら、北海道教育委員会が平成18年8月に策定した「新たな高校教育に関する指針」では、全日制課程については、一定規模の生徒及び教職員の集団を維持し、活力ある教育活動を展開するために、「1学年4～8学級」が望ましい学校規模とされているところであります。

幕別町では、今後の少子化の進展に鑑み、学校法人多田学園江陵高等学校と北海道幕別高等学校の2校の安定的な継続は厳しい状況になることが予想されることから、両高校の再編統合について北海道教育委員会に4月14日に要請したところであり、安定的かつ持続可能な後期中等教育機関の設置を地域として強く求めるものであります。

地域における高校は、生徒の個性や能力を最大限に伸ばす教育、地域の将来を支える人材の育成、地域社会の活性化への貢献や地域の最高教育機関としての役割があり、地域に高校を将来にわたって存続させ、希望するすべての子どもにゆたかな後期中等教育を保障する必要があります。

よって本町議会は、下記の事項について強く要望いたします。

記

- 1 両高校を再編統合した新たな高校の1学年の学級数は、生徒の学習ニーズに応える多様で柔軟な教育課程が編成でき、部活動の充実を実現できる規模である4学級としていただきたい。
- 2 新たな高校の学科は、生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に応じた魅力ある選択科目からなる全日制普通科単位制としていただきたい。
- 3 新たな高校は、地域の声が、迅速かつ的確に学校運営に活かされ、保

護者や地域の方々と校長をはじめ教職員とが一体となって、地域に関かれ、信頼される学校づくりを進めることができ、特色ある学校づくりが期待のできる学校運営協議会制度（コミュニティスクール）を導入していただきたい。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成 29 年 8 月 30 日

北海道中川郡幕別町議会

【提出先】

北海道教育委員会教育長、北海道知事、北海道議会議長